

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 27 年 11 月 23 日 発行

第 29 号

発行人 校長 鈴木史良

現地の小中学校との交流2

—— 異文化にふれ合い、グローバルな力をつける ——

11月16日(月)に中学部の生徒がウスターのクレメンアッカ中学校と交流しました。クレメンアッカ中学校はピュント小学校の西にある公立中学校です。本校の中学生4名は担任、小林亮博教諭他の引率により同校を訪問し、体育館で同学齢の女子クラスとスポーツ交流しました。現地校の体育教師は以前日本人学校を訪問したことがあり、本校の子どもたちが自主的に交流活動を進めていく形に感銘を受け、今回その方式を取り入れたそうです。なるほど、リーダーの子どもたちが数名、先頭に立って活動内容を説明し、交流を進めて



チームスポーツで汗を流す中学生

いきました。6-7人1チームの4チーム対抗球技等は、本校では普段できないので、本校の生徒たちも、より大きな集団での体育の授業を味わうことができたと思います。

18日(水)には、ピュント小学校の児童が本校に来校し、5、6年生と交流しました。その様子を高学年担任、山田遊教諭の作成した学級通信No.37から紹介します。

水曜日に現地のピュント小学校と交流しました。今年度、ピュント小学校はチューリッヒ州から指定された他国文化の研究校で、外国語にふれることが重視されています。そこで今回は、来てくれた子が「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」の3つの言葉と、「わたしの名前は〇〇です。」という自己紹介を必ず話せるようにしよう、自分の名前を平仮名、片仮名、漢字の3種類の文字で書けるようにしよう、というめあてをもって企画をしてきました。

ピュント小学校の子どもたちは、日本語を積極的に話していました。また、字の書き取りにも繰り返し熱心に取り組んでいました。中には日本人顔負けの整った字を書くことができるようになった子もいて、みんな驚いていました。本校の5人は日本語と英語とドイツ語と身振りを交えて、たくさんコミュニケーションをとっていたのがよかったです。また、ピュント小学校の子が話す日本語を一生懸命聞き取ろうとする優しさが見られました。書き取り練習を見て回りながら「アインス、ツヴァイ…」と書き順を教えたり、「ここはこうして…」と書き方を助言したり、「グート!」「スッパー!」など表情豊かにほめたりしている姿が微笑ましかったです。いっきに30人学級となり、活気あふれる楽しい時間となりました。



ピュント小の児童を迎えて(高学年)

中学部、ベルフスメッセでミニ職業体験

11月20日(金)の3校時から、中学部生徒4名は引率教師らとともにチューリッヒ・オエリコンに出かけ、そこで開催されているベルフスメッセを見学しました。目的は、“他国における職業教育(進路・キャリア教育)を見学・体験することにより、自分自身の将来の職業決定を含めた進路や中学校卒業後の進路に対する意識を高める”ことです。これは、水曜日に行われた中2生徒による一日職場体験同様、本校のキャリア教育の一環として位置づけられています。日本の中学校でも事業所や商店等に依頼し、そこで実際に働く職場体験は実施していますが、このようにさまざまな職業が一堂に会したところで見学・体験する機会は少ないと言えます。

ベルフスメッセは広い会場にさまざまな職業のブースが設置されていました。セメントでタイルを積み上げる作業、ショベルカーを操作する作業、パンの生地でねじりパンを作る作業、模型の血管から血液を採取する作業などなど、どのブースもすべてミニ体験できる工夫がされていました。本校の生徒たちは、予め用意していた質問をしたり、いろいろなブースを訪問してミニ体験したりする等、積極的な活動ができました。会場内は中学生世代の子どもたちであふれ、若々しい活気がみなぎっていました。



ラッピング技術を学ぶ中学生

ウスター・オン・アイスで響く和太鼓

穏やかだった秋から一転し、雪がちらついた土曜日の夕べ、ウスター競技場に隣接したアイススケート場がオープン。そのオープニングで本校児童生徒が力強い和太鼓の演奏を披露しました。市長や市民の皆様にも、日本人学校の子どもの活躍を見ていただきました。その後、補習校出身というフィギュアスケーターのすばらしい演技も披露され、寒い夜がさまざまな光に彩られました。



夜空に響く和太鼓の力強い演奏

ウスター・マルクトによる金曜日の特別日課

11月26日(木)、27日(金)にウスター・マルクトが開催されます。現地校は2日間休みになりますが、本校は、26日(木)は平常授業をおこないます。27日(金)は午前中のみの授業とさせていただきます、授業終了後、午前11時10分に下校となります。

ウスター・マルクトの発祥は古く、今から900年以上も昔の1099年に遡ることができます。この地に初めて教会ができ、教会の誕生を祝う行事のため多くの人々が集まりました。教会の周りに物々交換のための市ができたのが、その始まりとされています。スイスの歴史的、伝統行事ですね。